



卓越した技術で制作された作品と細田さん

## 卓越した染色の技 細田さんが作品展

駒ヶ根シルクミュージアム

駒ヶ根市東伊那の養蚕・製糸博物館「駒ヶ根シルクミュージアム」で、宮田村在住の染色工芸家、細田伊佐夫さん(87)の黄綬褒章受章を記念した作品展が開かれている。卓越した技術で染め上げた着物や布など約80点が並び、染色に携わってきた70年余の軌跡

を伝えている。16日まで。

家業の染色に携わるようになったのは12歳ごろ。修行を重ねて、筆で風景などを描く「手描友禅」などさまざまな技法を習得。得意とするのが、ぼかし染めで、独自技法「睡蓮染」を編み出した。一級染色技能士の資格を持ち、昨秋には黄綬褒章を受章した。

会場には、ここ30年間に制作した作品が並ぶ。1989年に手掛けた「深山幽谷」は、青の着物地に、木や山などを描いた情緒漂う作品。「睡蓮染」を駆使した作品「観音菩薩立像」は、菩薩像の背景を、主に青の濃淡で表現し、幻想的な雰囲気醸し出している。先人らの名言や句を題材にした作品もある。

細田さんは「時代とともに、染色業界に求められる色や柄、技法も変化してきた。作品展が、伝統工芸を見直してもらおうきっかけになれば」と話している。

時間は午前9時～午後4時30分。13日午後1時30分から細田さんによるトークイベントが行われる。問い合わせは同館(電話0265・82・8381)へ。(寺田英祥)